

## 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	親海湿原木道改修事業
事業主体 (連絡先)	白馬村 0261-85-0722
事業区分	主となる区分 (5) 観光保全及び景観形成事業 関連する区分 (6) ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード事業
総事業費	7,128,000 円 (うち支援金: 891,000 円)

### 事業内容

#### 【木道整備】

半恒久的な木道とするため、床板の擬木を図った。  
貴重な植生を保護するため、植物の最盛期を過ぎた  
11月の中旬から工事を行った。  
全371.19mのうち、52.10mの床板を擬木化した。



【竣工後全景】

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

床板を擬木化することで、耐久性と安全性が確保できた。また、観光客の踏み抜きによる怪我の心配が無くなり、園内を安全に散策して頂けるようになった。材質が劣化に強くなったことで補修に要する経費の削減が図られた。本年度は長野県観光協会事業も活用して、全区間の擬木化が完了した。

#### 【目標・ねらい】

- ①施設の耐久性向上
- ②来場者の安全確保
- ③より良い景観の形成

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

全ての床板が擬木化となり、安全・快適に散策することが可能となった。今後は劣化、損傷による補修の必要が無く維持管理に係る労力・経費が大幅に削減されるものと期待している。但し、一帯は湿地ということもあり、床板を支える杭は場所によって沈下することがある。今後も遊歩道全体のメンテナンスを継続していきたい。

※自己評価【 A 】

#### 【理由】

3年間の継続の末、全区間の擬木化が完了した。来場者に気持ち良く園内を散策して頂ける環境が整った。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある